



【団体名】特定非営利活動法人おおさき地域創造研究会  
 【設立】2003年(2010年10月法人化)  
 【会員数】正会員22名、賛助会員12名(2022年4月現在)  
 【これまでの主な活動】話し合いの場づくり/被災者支援/移住者支援/女性相談窓口の開設 など

話し合いの場づくり/被災者支援/移住者支援/女性相談窓口の開設 など  
 見つけたり、解決の糸口になることも。集まった当初には顕在化していなかった人口減少社会や移住支援など、地域の課題にゴールはあつてないようなものです。困ったらみんなで話し合う。まちはみんなで作るものだから。

Q 様々な話し合いをしたと思いますが、課題の解決という視点ではどうですか？

合併後、地域計画をつくるために話し合いの場が必要とされていたんです。女性・青年・子育てママにも参加してもらいたいと区長さんにもお願いし、笑い声のある話し合いの場になりました。でもどうやったら「本音で話す場」になるか、今も考え続けています。

## case study

### モヤっとから始まった団体 おおさき地域創造研究会 「合併後の大崎はなるの？」 からスタートした市民活動

2006年、1市6町(古川・松山・三本木・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻)が合併し、大崎市が誕生しました。合併が決まった2003年から、住民で色々な意見を出し合い、地域づくりを学ぼうと市民有志で立ち上げたのが、おおさき地域創造研究会です。代表の大和弘さんにお話を聞きました。

Q 「話し合い」を大切にしているそうですね。

「合併後どのような地域になるのだろう」と関心のある住民が20人ほど集まって、学びを始めました。メンバーはNPO、行政職員、公民館職員さまざまでした。



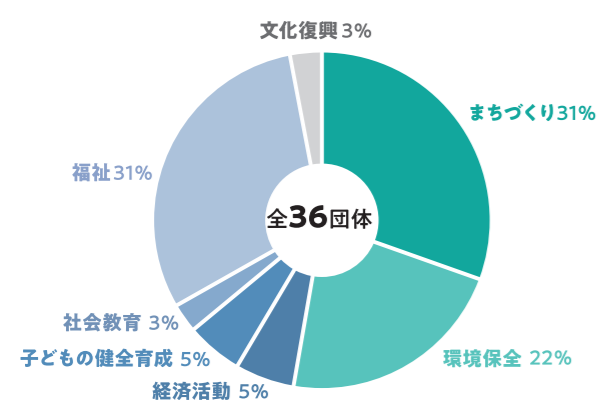
Q 活動のきっかけを教えてください。

先輩にまいてみる

## data

### こんなにある!? 大崎市の市民活動

現在、大崎市には、NPO法人、任意団体、公益・共益サークルあわせて200以上の市民活動団体があります。このうちNPO法にもとづき、設立承認を得ているものは36団体あります。(2022年6月末現在)



たとえば、環境保全団体では「シナイモツゴ郷の会」や「エコパル化女沼」、まちづくり団体では「エフエムおおさき」など、みなさんも一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。きっとあなたの身近なところで、今日もおおさきの市民活動が行われているはずですよ。

## information

### よるカフェ



毎回さまざまなテーマで市民活動の芽を育む場として開催。肩書や性別、年齢関係なく交流できる場です。皆さんの話したい気持ちを持ち寄り、楽しくおしゃべりしませんか？  
 「よるカフェ」では、市民活動の紹介/人と人をつなげる/活動とつなげる/ボランティア活動情報 などの情報共有・提供もこなっています。

2022 よるカフェ これまで・これから

4月 移住者交流会 おやこで遊べる場所情報交換  
 5月 あなたの「モヤっと」お聞かせください  
 7月 今一番、興味のあることを話そう  
 8月・9月 未定

\*今後の開催日時やテーマはSNSでチェック!  
 \*参加希望の方は電話・メール・SNSでお気軽に。

交流する

女の子や女性のみなさん、お話を聞かせてください!  
**「まらっと相談室」**

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校や職場、家庭での悩みや不安をひとりではかえ込んでいませんか？女の子や女性のみなさんの、一歩を踏み出すお手伝いをします。お気軽にご相談ください。

電話090-6684-4970(平日10時~18時)  
 ※対面相談も行っています/要予約  
 みやぎの女性つながりサポート型支援事業の委託を受け、おおさき地域創造研究会が実施しています。



# 特集

## モヤっと

### がまちを変えていく!

楽しいこと  
したい

年金いくら  
もらえるか?  
なんでみんな  
もっと働かないの?

児童館で  
ケンカしたくない

子どもの  
あそびば  
もっとほしい!

日々、わたしたちが生活のなかで感じる「モヤっと」。モヤモヤがあるからこそ生まれる「何か」が存在し、そこには市民活動の芽が隠れているかもしれない!そんな仮説から、みなさんの「モヤっと」を募ってみました。

精神的に  
楽になり、  
心穏やかに  
生きたい。

なつで、あついのに、  
マスクで、  
ますますあつくなる

目玉焼きが  
いつもしっばい  
して終わる

日本をどんな  
国にしたいの?

背中を押してほしい  
そんな時こそ声を出そう

たくさんのモヤっとありがとうございました!

亀: 短期間でこんなにたくさん!みなさんモヤっとしてますねえ。お子さんかな?イラストで表現してくれてる!

み: コロナ関連のモヤっとも多いね。私はやっぱりマスクの下にある笑顔が見られる日常に早く戻ってほしい。

俊: モヤっとは人生の問いだと思えますよ。漢字がすぐに出てこないというモヤっとには、いまでも共感しています(笑)。

竜: だれかが発したモヤっとに、別のだけれど「共感」したのか、すぐとなりになるようにコメントの付箋を貼っていますね。

楓: 付箋同士で和気あいあいしてるの、ホッとしゃべっちゃう。モヤモヤって、モヤモヤだからコミュニケーションのツールにもなるのかもね。

竜: そうですね。まずは誰かに聞いてもらいたい!あわよくば共感してほしい!そこから市民活動って始まるんじゃないでしょうか。

俊: 心のなかにあるモヤモヤを解放することで、「この人も同じ気持ちなんだ!」すごくよくわかる!ってなるよね。そんなやりとりをお手伝いできるサポートセンターでありたいですね。

### サポセンスタッフが考える 「市民活動の魅力って?」

- 俊一(自身も「すいせん植え隊」で活動)  
▶「ともにつくる明日!」
- 竜太(サポセンのリベロ)  
▶「自分の幸せをつくる活動」
- 楓(アフリカ魂・サポセンの元気印)  
▶「伝染型のハッピーパワー♡  
どんな気持ちもヒトのためになる」
- みゆき(クールに見えて実は情熱系)  
▶「色々な事を感じたり・経験できる」



子どもから大人まで。市民の「モヤっと」がこんなに集まりました!